観光社会資本の事例

テーマ 清流仁淀川(波川緑地公園)

【施設の状況写真】



夏場においては、遊泳者が数多く訪れて また、家族連れなどがキャンプをし大変 にぎわっている箇所です。



高水敷部が公園管理されており、春になる と桜が満開となり周辺施設との調和がとれ 観光客も多い。

【施設の利用写真】



気持ちよさそうに泳ぐ紙のこいのぼり 仁淀川わくわく館(情報発信基地)



【観光資源としての利用状況】

「紙の町」を象徴するように、和紙の生産が盛んであることに加え、清流と砂州・周辺の緑 と青空の織りなす"によどの景観"を良好な状態で保全し、人々に癒しを提供できるように 合わせて、キャンプやアユ漁等など河川利用の促進、環境改善を通じて地域振興に寄与 しています。また情報発信基地として「仁淀川わくわく館」が周辺にあり来客された方の憩い の場としても利用されています。

テーマ 清流仁淀川(波川公園)

【社会資本の基礎データ】

名称 仁淀川(波川緑地公園)

所在地 高知県吾川郡いの町波川地先

事業名 河川事業事業主体 国土交通省

事業期間 平成元年~平成5年

【社会資本の役割・効果】

治水効果

既設緑地公園施設を防御するとともに、丸みを帯びた多自然型低水護岸が日頃の 人々の憩いの場となっています。

観光効果

例年5月のゴールデンウィーク時には、紙のこいのぼり(川を泳ぐ)を流し、夏季 は遊泳者、春季は花見客で周辺施設はにぎわっています。

【位置図】



【関連ホームページ】 いの町 http://www.town.ino.kochi.jp/

仁淀川わくわく会議 http://niyodoriver.org/

高知県 http://pref.kochi.jp/